

支払賃金計画書（様式7）の記載例

下記の従事者No.1～No.4を支払賃金計画書（様式7）に記入すると次ページのとおりとなります。

従事者No.1 月給制

8時間/日×週5日勤務=40時間/週、8時間×年間労働日数256日=2,048時間/年
基本給145,210円、職務手当6,000円、通勤手当5,000円

・『手当額（最低賃金対象分）（G）』欄には、職務手当は最低賃金の対象だが、通勤手当は対象外のため、職務手当6,000円のみ記入する。

・『時間単価（H）欄』には、次のとおり計算し記入する。

（基本給額+手当額（最低賃金対象分））×12月÷所定労働時間（年間）

（145,210円+6,000円）×12月÷2,048時間 ÷ 885円（小数点以下切り捨て）

従事者No.2 日給制

6時間/日×週5日勤務=30時間/週、6時間×年間労働日数250日=1,500時間/年
基本給（日給）5,160円、通勤手当300円/日

・『手当額（最低賃金対象分）（G）』欄には、通勤手当は対象外のため、0円と記入する。

・『時間単価（H）欄』には、次のとおり計算し記入する。

（基本給額+手当額（最低賃金対象分））÷所定労働時間（1日当たり）

（5,160円+0円）÷6時間 = 860円（小数点以下切り捨て）

従事者No.3 時給制

3時間/日×週4日勤務=12時間/週、3時間×年間労働日数208日=624時間/年
基本給（時給）860円、通勤手当300円/日

・『手当額（最低賃金対象分）（G）』欄には、通勤手当は対象外のため、0円と記入する。

・『時間単価（H）欄』には、次のとおり計算し記入する。

（基本給額+手当額（最低賃金対象分））

（860円+0円） = 860円

従事者No.4 時給制（複数のシフトにより1日の労働時間が異なる）

おおよそ週5日勤務のうち、

（おおよそ週3日×3時間勤務） + （おおよそ週2日×4時間勤務） = 17時間/週
年間労働時間 886時間

基本給（時給）860円、通勤手当300円/日

・『手当額（最低賃金対象分）（G）』欄には、通勤手当は対象外のため、0円と記入する。

・『時間単価（H）欄』には、次のとおり計算し記入する。

（基本給額+手当額（最低賃金対象分））

（860円+0円） = 860円

記載例

支払賃金計画書

業務名：

会社名

〇〇〇株式会社

従事者No.	給与形態	所定労働時間			基本給額	手当額 (最低賃金対象分) ※賞与等除外	時間単価	週15時間以上配置
		年間	1週間	1日				
A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	月給	2,048 ^h	40 ^h	8 ^h	145,210 ^円	6,000 ^円	885 ^円	○
2	日給	1,500	30	6	5,160	0	860	○
3	時給	624	12	3	860	0	860	×
4	時給	886	17	3~4	860	0	860	○
							0	
							0	
週労働時間15時間以上配置する者の平均時間給							868円	

「週15時間以上配置」欄で「○」である従事者
No1、No2、No4の平均を計算して記入する。
(885円+860円+860円)÷3≒868円(小数点以下切捨て)